

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所  
【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)  
HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、AGS JOINT STOCK COMPANY (ベトナム・ホーチミン)



## 【大連支店】

## タイトル WeChat とソーシャル EC の勃興

## 1. はじめに

私たちの生活に欠かすことができないスマートフォンには様々なアプリがあります。目的や用途に合わせてアプリをダウンロードすれば、私たちはより良いサービスと利便性を享受することができます。中国にも様々なアプリがありますが、その中でも王様の存在なのが“WeChat”です。WeChat は月間利用者数が 10 億 9800 万人(2018 年現在)いる SNS アプリで、中国では老若男女を問わず利用されています。今、この WeChat が SNS のみならず、様々な素晴らしい機能を携え目覚ましい発展を遂げています。

## 2. 世界最大の SNS アプリ「WeChat (微信)」

WeChat (中国名「微信(ウェイシン)」)は中国最大の SNS プラットフォームです。一言で言うならば“中国版の LINE”です。運営会社は騰訊(テンセント)という、世界最大級のゲーム・アプリ開発を展開する IT 事業会社です。

WeChat の魅力は何と言っても多機能であることです。メイン機能は SNS で、メールや音声・ビデオ通話はもちろんのこと、Facebook のようなつぶやき機能(モーメンツ)も持ち合わせています。資金決済(WeChat Pay)もアプリ内で行うことができ、その他にもゲーム、割引クーポンの取得等、数多くの機能をもち合わせています。

チャット機能はビジネスの世界でも大いに活用されています。最近では名刺交換に替えてチャットの連絡先を交換するようになってきました。チャット内では写真や動画に加え、PPT や Word、Excel ファイルのやりとりも簡単に行えます。ステッカーの多くが無料で使える点は LINE のスタンプよりもお得です。

資金決済機能の「WeChat Pay」は銀行口座やクレジットカードを登録すれば、簡単にしかも無料でチャージを行うことができます。利用限度額の範囲内であれば一日何度でも支払いを行うことができますし、利用者間で資金のやりとりをすることも利用されています。WeChat Pay は中国社会にほぼ完全と言っていいほど浸透しているので、日常の買い物やタクシーの支払い等は全て WeChat Pay で行っています。今や現金や財布を持ち歩くこ



WeChat のアイコン  
(出所: WeChat HP)

とすらなくなっています。この機能が普及した要因として、中国では偽札が多く出回っており、日本円ほど紙幣の信用度が低いことが関係しているかもしれません。しかし、結果的に中国の方が日本よりも早く電子マネーが普及したことを考えると、何が世の中の発展に寄与するのか分かりません。

### 3. 世界を変えた WeChat の「ミニプログラム」

WeChat がここまで利用者を急速に伸ばした大きな要因として「ミニプログラム」と呼ばれるアプリ内で自由に開発できるプログラムの存在があります。ミニプログラムはアプリ内傘下にあるインストール不要のミニアプリで、インストールが不要であるにも関わらず、機能面は通常のアプリに劣りません。利用者はアプリをダウンロードする必要がないことから、端末容量を使う必要がありません。定期的な更新を行う必要もありません。

ミニプログラムは開発側にとっても、大変便利なソフトウェアです。通常、スマートフォン用のアプリの開発には多額の開発費と労力が必要です。最大の要因として現在のスマートフォンの OS には主なものに「iOS」と「アンドロイド」の二つがあり、これらに対応したアプリをそれぞれ開発する必要があることが挙げられます。WeChat のミニプログラムであれば一つのアプリを開発するだけでどちらの OS にも対応できることから、開発費も労力も半分で済ませることが出来ます。

ミニプログラムが何よりも優れている点は SNS 内にあることです。利用者は自分が気に入った商品をメールやモーメンツに掲載することで情報を簡単に拡散することができます。情報の閲覧者は入手した情報画面をクリックするだけで商品購入用のサイト（ミニプログラム）に移動でき、そこで商品を購入することができます。代金決済は WeChat Pay を活用できます。

WeChat は利用者数がとても多いことから、情報の拡散を効率的に行うことができます。その為、EC 事業を行う多くの事業者は既に専用のスマホアプリを開発していたとしても、わざわざ WeChat 内での販売用にミニプログラムを開発しています。



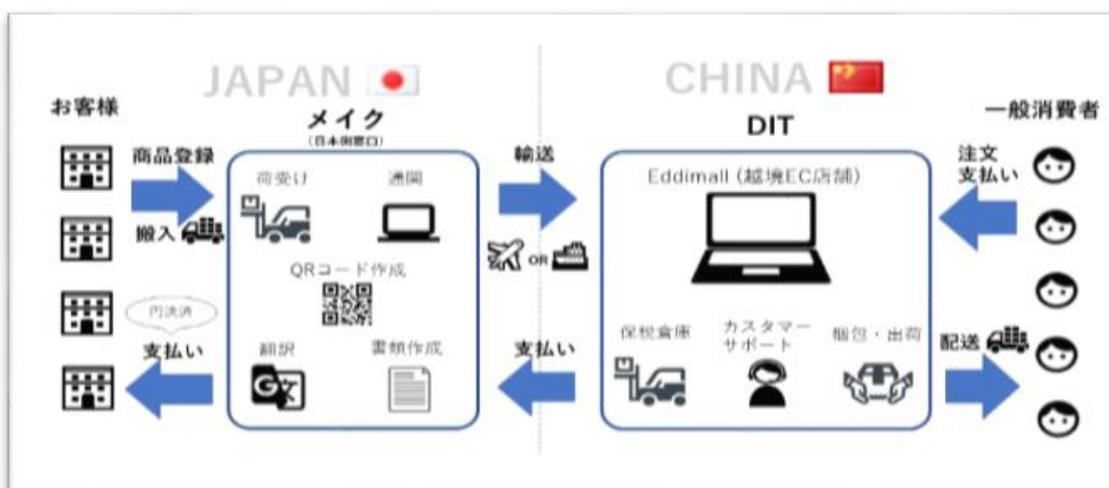
WeChat 内での使用例

アプリ内で商品情報の発信→購入サイトへ移動が行える

#### 4. おすすめの買い物アプリ「Eddimall」

上述の理由から WeChat のミニプログラムを使った EC サイトがたくさん誕生しています。なかでも山口銀行大連支店がおススメするミニプログラムは、大連愛迪貿易有限公司 (DIT) が運営 (日本側総合窓口: ㈱メイク) する越境 EC サイト「Eddimall」です。Eddimall は 2019 年の「電子商取引法」の施行に合わせて作られた大連税関認可型の越境 EC サイトで、上述のミニプログラムを利用したお買い物 EC サイトです。特徴として、同サイトには一般貿易商品に加え越境 EC で輸入した、数多くの地元の名産品やオリジナル商品が出品されていることが挙げられます。その為、中国初上陸商品も数多くあります。また、越境 ECの方が一般貿易よりも税制面で優遇されており、加えて運営社側が日本と中国の物流・通関等をワンストップで行っていることから、運営コストを抑えることが可能で、結果的にお手頃な値段で消費者に商品を提供できる仕組みとなっています。

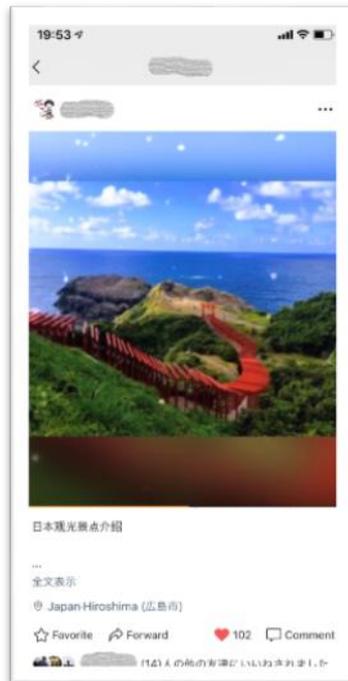
出品者が負担するインシヤルコストやランニングコストも大手サイトに比べてとても低価格に設定されており、輸出や翻訳、サイト作成等の手続き、顧客対応は運営会社が全て代行します。出品後の商品 PR についても現代風に SNS やライブコマースを活用した宣伝を行っており、中小企業様の中国市場開拓にとっても便利な仕組みとなっています。



日本・中国、それぞれがワンストップなので低コストで販売が可能

(出所: ㈱メイク 越境 EC 専用 HP)

また、同サイトではライブコマースによる販促活動や動画配信による商品及び観光の PR 活動も行っています。運営サイドが口コミによる拡散を目的に WeChat 内にグループを作成し、商品情報や観光の PR 動画を配信しています。観光 PR 動画は主に山口 F G の地元である山口・広島・福岡を舞台とした景勝地を中心に配信し、地元の知名度アップを図っています。Eddimall は SNS と越境 EC、ミニプログラムを駆使し、新しい地域振興の形を模索しています。



ミニプログラムと SNS を活用し、ライブコマースや観光 PR 動画に関する情報を発信  
(提供：(株)メイク)

## 5. 最後に

ソーシャル EC (SNS を活用した E コマースの総称) は、ユーザーが直接、店舗から商品やサービスを購入するのではなく、消費者が SNS 内で有益な情報をおススメすることで、それを見た知人が購入するという点で、通常の商取引とは異なります。SNS が普及した現代社会ではソーシャル EC は看過することができない消費形態となっています。WeChat はソーシャル EC を実現する場であり、中国にはなくてはならないアプリと言えます。

私たちの生活に欠かすことができないインフラとなったスマートフォン。今後もこのスマートフォンを活用した様々なビジネスが展開されることが予想されます。山口銀行大連支店では様々な中国ビジネスに関する情報を提供して参ります。是非お気軽にお問い合わせください。

(山口銀行大連支店 田村 卓也)

### 【参考文献】

- ・ WeChat HP <https://weixin.qq.com/>
- ・ (株)メイク 越境 EC 専用 HP <http://www.make-ekkyoec.jp/>